

経営比較分析表（令和元年度決算）

岐阜県 垂井町

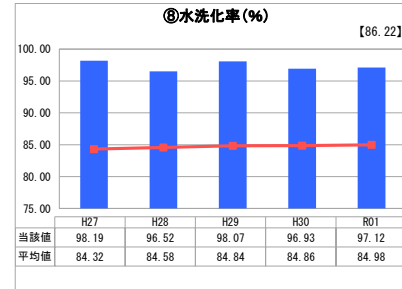
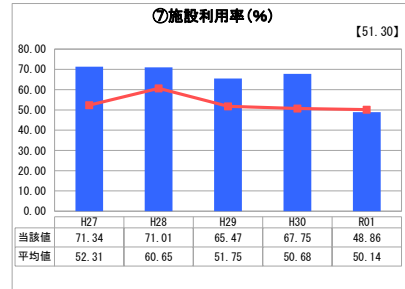
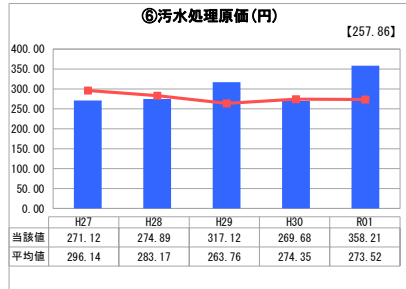
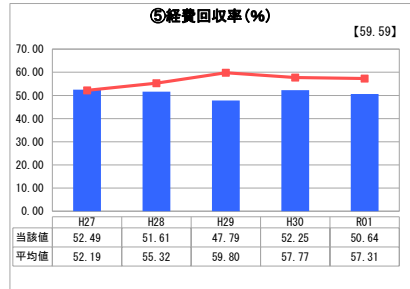
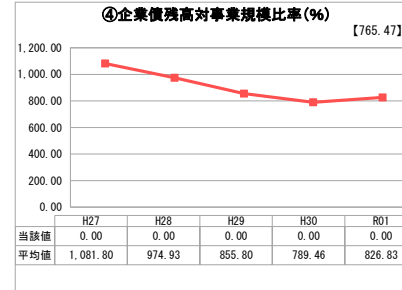
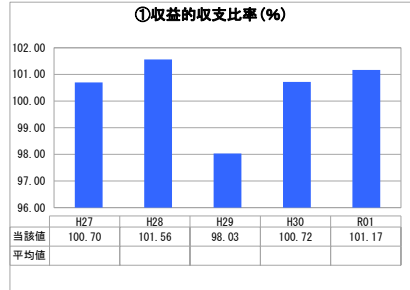
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	1.67	100.00	5,400

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,130	57.09	475.21
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
451	0.17	2,652.94

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、H30年度に100%を上回りR1年度は101.17%となりました。R12年度に地方債の償還が終了しますが、事業規模が小さく、処理区域内が市街化調整区域や都市計画区域外であることから人口増加が見込めず、総収益のさらなる増加は難しいと考えます。引き続き費用削減を図る必要があります。

④企業債残高対事業規模比率については、全額一般会計からの繰入金で負担しているため数値が0となっており、この繰入金による依存は、地方債の償還が終了するR12年度まで続きます。

⑤経費回収率については、年々減少傾向にあり、汚水処理に係る費用が使用料だけでは賅うことができず、繰入金で補填している状態が続いています。

⑥汚水処理原価については、全国類似団体の平均を上回る数値となりましたが、人口減少により今後も増加していくものと考えられます。

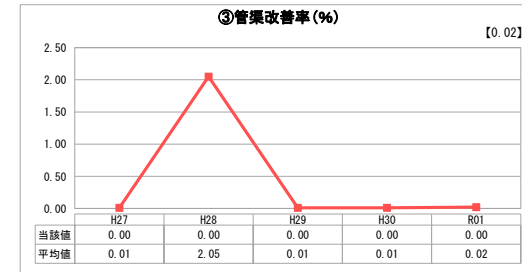
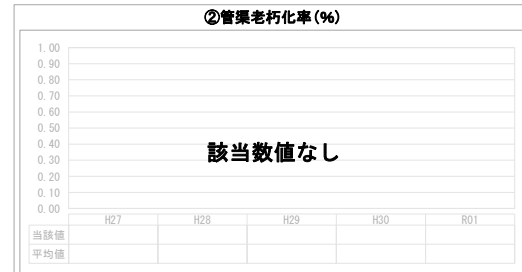
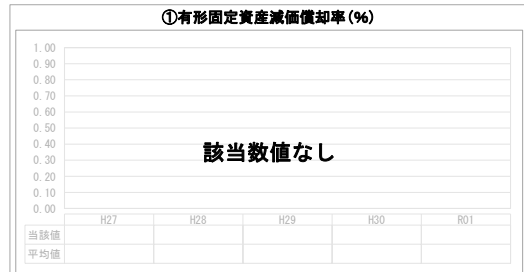
⑦施設利用率については、類似団体と同程度であり、今後も現状維持に努めていきます。

⑧水洗化率については、農業集落排水は公共下水道とは違い、整備がほぼ完了しているため、向上は見込めません。

2. 老朽化の状況について

当町には2つの農業集落排水施設があります。北部第一農業集落排水施設（梅谷・敷原地区）についてはH6年度供用開始、伊吹農業集落排水施設（伊吹地区）についてはH13年度供用開始の施設です。比較的施設は新しいですが、今後は施設等の老朽化による電気・機械設備等大幅な更新が考えられます。

2. 老朽化の状況



全体総括

施設の老朽化により、今後は設備更新等を迎えるため、更なる健全経営が求められます。現状では、大幅な収益増加は見込めないことから、今後も繰入金の依存に頼らざるを得ない状況です。将来、新たな財源を確保するため料金体系を検討していく必要が生じてきますが、経営状況を把握し、効率的・持続的で安定した経営に努めていきます。また、経営状況を正確に把握するために地方公営企業法の適用に向け取り組んでいます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。